



# 株式会社オウケイウェイヴ

## 第25期第3四半期 決算説明会

2024年5月14日作成  
代表取締役社長 杉浦元

### 【約束とお願い】

- ・ 本説明会は記録のため、録画をしております。  
録画データを広く公開する予定はございませんが、あらかじめご了承ください。
- ・ 公序良俗に反する発言、行動等をお見受けした場合には、  
本会場から退出をしていただくことがあります。
- ・ 発言時以外はミュートをお願いいたします。
- ・ 画面はON/OFFどちらでも結構です。
- ・ ご質問は随時、チャットからでもお受けいたします。

# 2024年6月期3Q（第25期） 決算状況まとめ



## ■ BS（貸借対照表）の資産の部について

- 当3Q末現預金残高 354百万円

## ■ BSの負債・純資産の部について

- 当3Q末純資産残高 240百万円

## ■ PL（損益計算書）について

- 売上高は前年同期比（3Q累計）微増。
- 減少傾向にあった広告売上が持ち直し。DAVIAの売上減少をGRATICAの売上増により補う。
- 従業員の退職による人件費の減少、前1Qまで発生していた旧オフィスの家賃の二重計上の解消等により、前3Q比で大幅にコストを圧縮しているものの、依然として営業赤字。
- 特別利益が93百万円発生。
  - 子会社OBC売却益：27百万円（2Q）
  - 元監査役との和解金の受取：17百万円（3Q）
  - 第三者委員会にかかる保険金の受取：48百万円（3Q）

# 連結BS (資産)

(単位：千円)	FY2023/6	FY2024/6	増減
	期末	3Q	
<b>流動資産</b>	<b>675,289</b>	<b>424,591</b>	<b>-250,697</b>
(主な増減項目)			
現金及び預金	155,662	354,318	+198,655
未収入金	407,265	-	-407,265
<b>固定資産</b>	<b>1,069,174</b>	<b>1,066,707</b>	<b>-2,466</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,069,174</b>	<b>1,066,707</b>	<b>-2,466</b>
(主な増減項目)			
差入保証金	9,312	6,503	-2,809
<b>資産合計</b>	<b>1,744,463</b>	<b>1,491,299</b>	<b>-253,164</b>

## ■ 流動資産

### ・現金及び預金

営業活動によるキャッシュ・フロー：△287百万円

投資活動によるキャッシュ・フロー：△1百万円

財務活動によるキャッシュ・フロー：486百万円

### ・未収入金

株主割当の新株予約権6月行使分が当社に入金されたことによる減少

## ■ 固定資産

### ・差入保証金

連結子会社OBCの株式譲渡に伴う連結除外の影響

# 連結BS（負債・純資産）

(単位：千円)	FY2023/6	FY2024/6	増減
	期末	3Q	
<b>流動負債</b>	<b>1,843,026</b>	<b>1,250,453</b>	<b>-592,572</b>
(主な増減項目)			
短期借入金	460,000	-	-460,000
未払金及び未払費用	336,325	218,433	-117,892
未払法人税等	10,643	712	-9,931
<b>負債合計</b>	<b>1,843,026</b>	<b>1,250,453</b>	<b>-592,572</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>-71,146</b>	<b>248,956</b>	<b>+320,103</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>-27,416</b>	<b>-29,819</b>	<b>-2,403</b>
<b>新株予約権</b>	<b>-</b>	<b>21,707</b>	<b>+21,707</b>
<b>純資産合計</b>	<b>-98,562</b>	<b>240,845</b>	<b>+339,408</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,744,463</b>	<b>1,491,299</b>	<b>-253,164</b>

## ■ 流動資産

- ・ 短期借入金  
返済による減少270百万円  
DESによる減少190百万円
- ・ 未払金及び未払費用等  
借入金の返済・DESによる未払利息の減少の他、  
連結子会社OBCの株式譲渡による連結除外の影響等
- ・ 未払法人税等  
納税による減少

## ■ 純資産

- ・ 株主資本  
7月以降の新株予約権の払込による増資350百万円  
DESによる増資191百万円  
四半期純損失△221百万円による変動
- ・ 新株予約権  
当社役職員に対するストックオプションの発行による増加

# 連結PL（累計期間）



	FY2023/6	FY2024/6	
(単位：千円)	3Q	3Q	増減
売上高	109,265	117,919	+8,654
売上原価	299,699	118,202	-181,496
<b>売上総利益</b>	<b>-190,434</b>	<b>-283</b>	<b>+190,150</b>
販管費	392,964	228,810	-164,154
<b>営業利益</b>	<b>-583,398</b>	<b>-229,093</b>	<b>+354,305</b>
営業外収益	13,131	4,265	-8,865
営業外費用	57,323	89,685	+32,361
<b>経常利益</b>	<b>-627,591</b>	<b>-314,513</b>	<b>+313,077</b>
特別利益	78,008	93,673	+15,665
特別損失	355,750	-	-355,750
<b>四半期純利益</b>	<b>-890,003</b>	<b>-221,666</b>	<b>+668,336</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>-889,457</b>	<b>-221,666</b>	<b>+667,790</b>

## ■ 売上高

連結子会社の縮小によるDAVIAの売上が減少したものの、OKWのGRATICAのストック売上増加により、前3Q比微増での着地

## ■ 売上原価

OKWにおける従業員退職に伴う人件費減少のほか、当1Qより連結子会社における事業縮小の影響等

## ■ 販管費

OKWにおける人件費等減少のほか、当1Qより連結子会社におけるコスト圧縮の影響  
前1Qまでは旧オフィス賃料と現オフィス賃料が一部二重で計上されていたほか、OK FUNDの運営費用も計上されていた影響

## ■ 営業外収益

為替差益の減少等

## ■ 営業外費用

ファイナンス関連のFA費用や訴訟関連の支払報酬や株主対応の臨時費用が発生したことによる増加

## ■ 特別利益

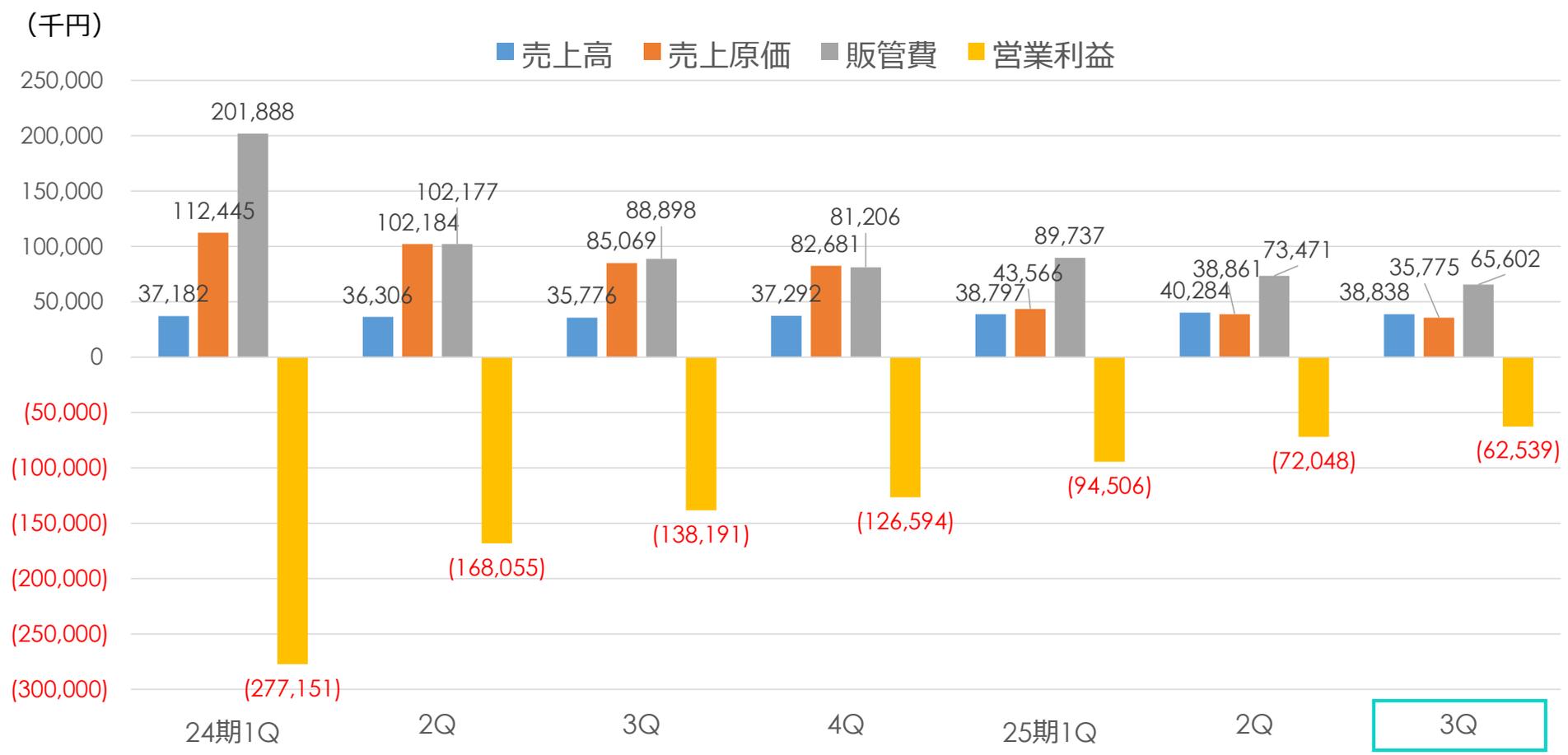
当3Qは連結子会社OBCの株式譲渡益、元監査役との和解金収入、第三者委員会の保険金の受取が発生

前3Qはオフィス移転時の資産除去債務の取り崩し及び元監査役との和解金の受取、第三者委員会の保険金の受取、投資有価証券の売却が発生

## ■ 特別損失

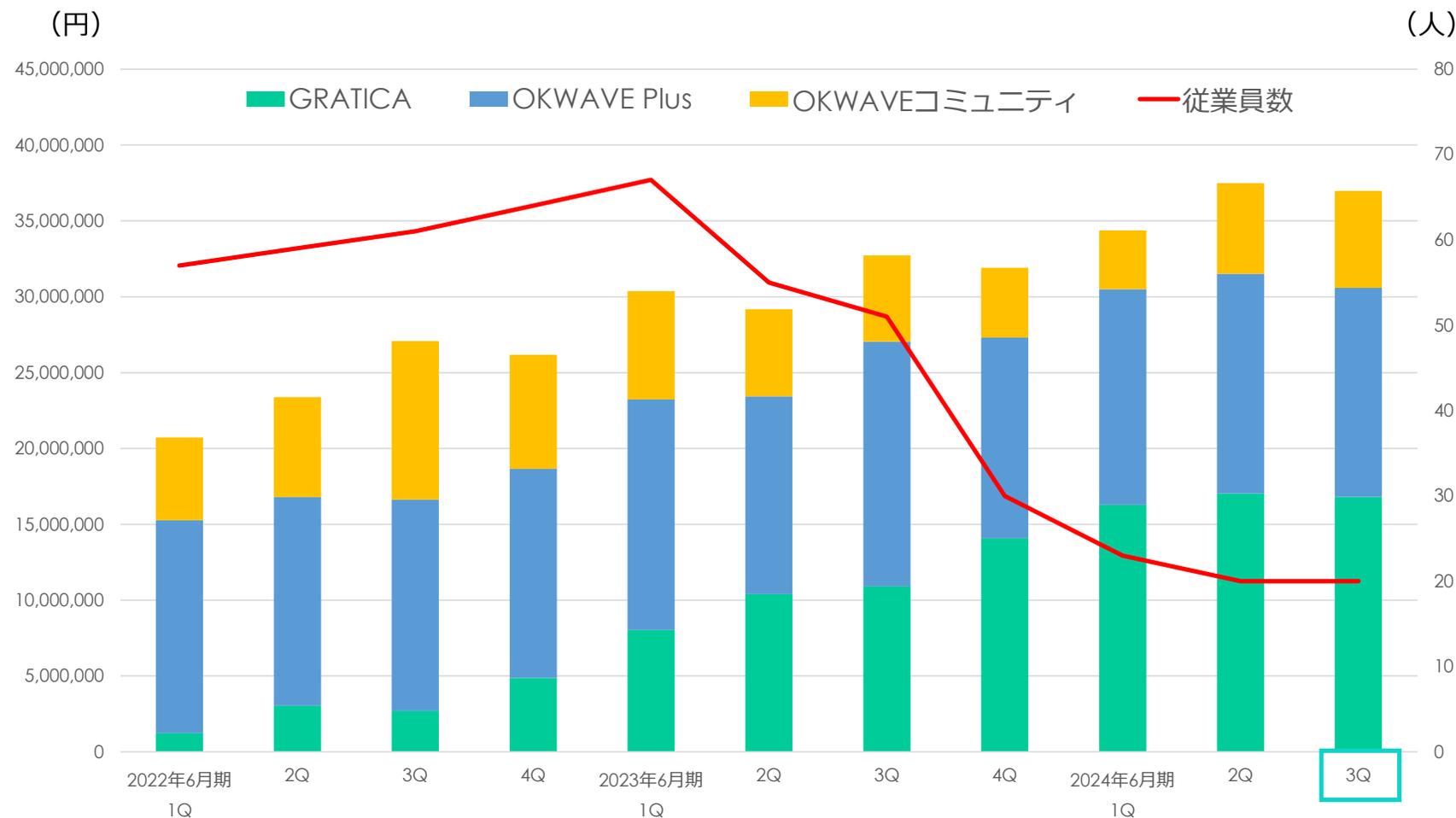
前3Qはアップライツにかかる投資有価証券評価損309百万円、特別調査費用の引当金の追加計上29百万円等が発生

# 業績推移 (24期~25期)



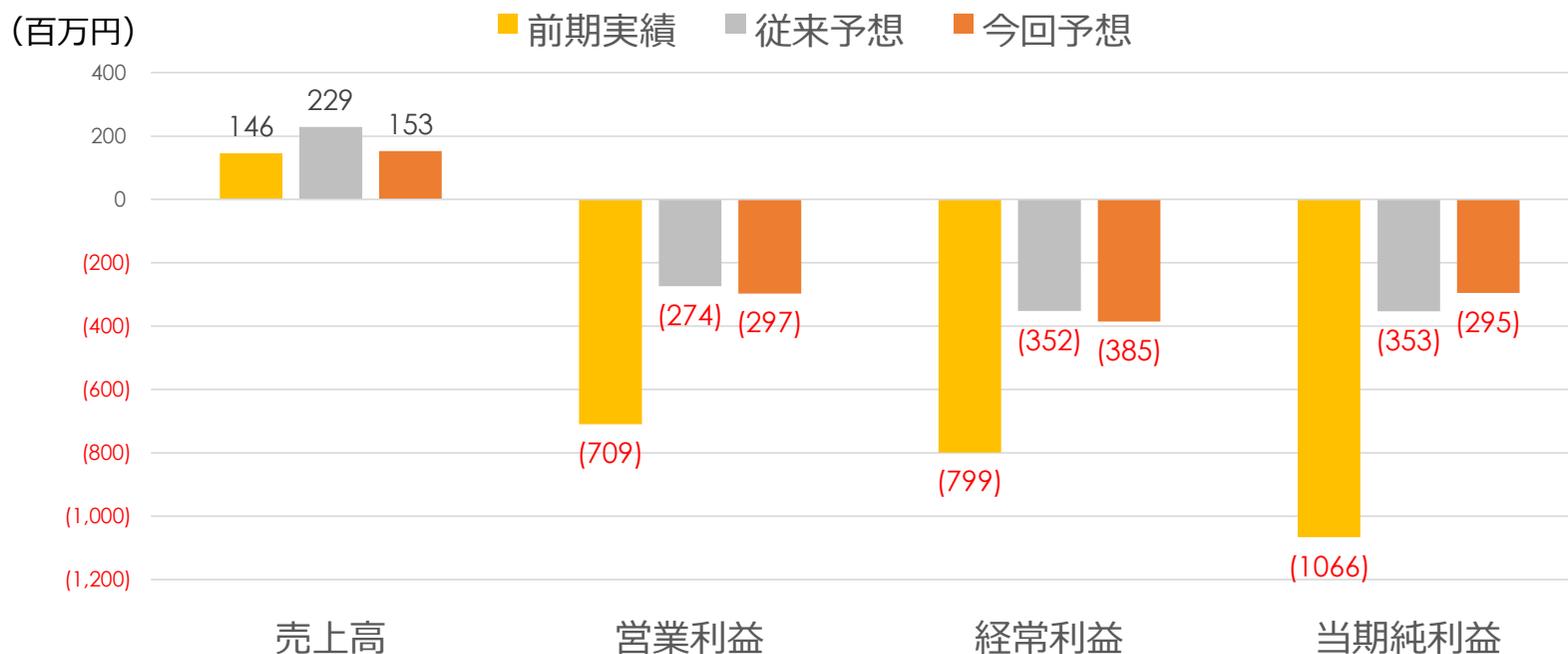
売上高は前期比微増も、人件費の減少・その他コスト削減により損益状況は改善

# サービス別売上推移 (23期~25期)



人員減少・広告費削減の中、GRATICA・OKWAVE Plusはストック売上により、今期は横ばいで推移。広告売上は1Qまでの減少傾向から3Qにかけて持ち直しているものの、前年比（3Q累計）では減少。

# 業績予想の修正・今期の着地見込について



売上高について、当初予想が未達見込となり、5/14付で業績予想の修正を行い、前期比微増での着地見込。各段階利益については、ほぼ当初予想通りの着地想定であるが、売上高の業績予想修正に合わせて修正。前期より大幅な赤字改善となるが、引き続き営業赤字での着地見込。

## (今後の見通し)

来期通期の営業黒字化を見据えて、組織体制の見直しに加え、外部リソースの積極活用等を検討中。

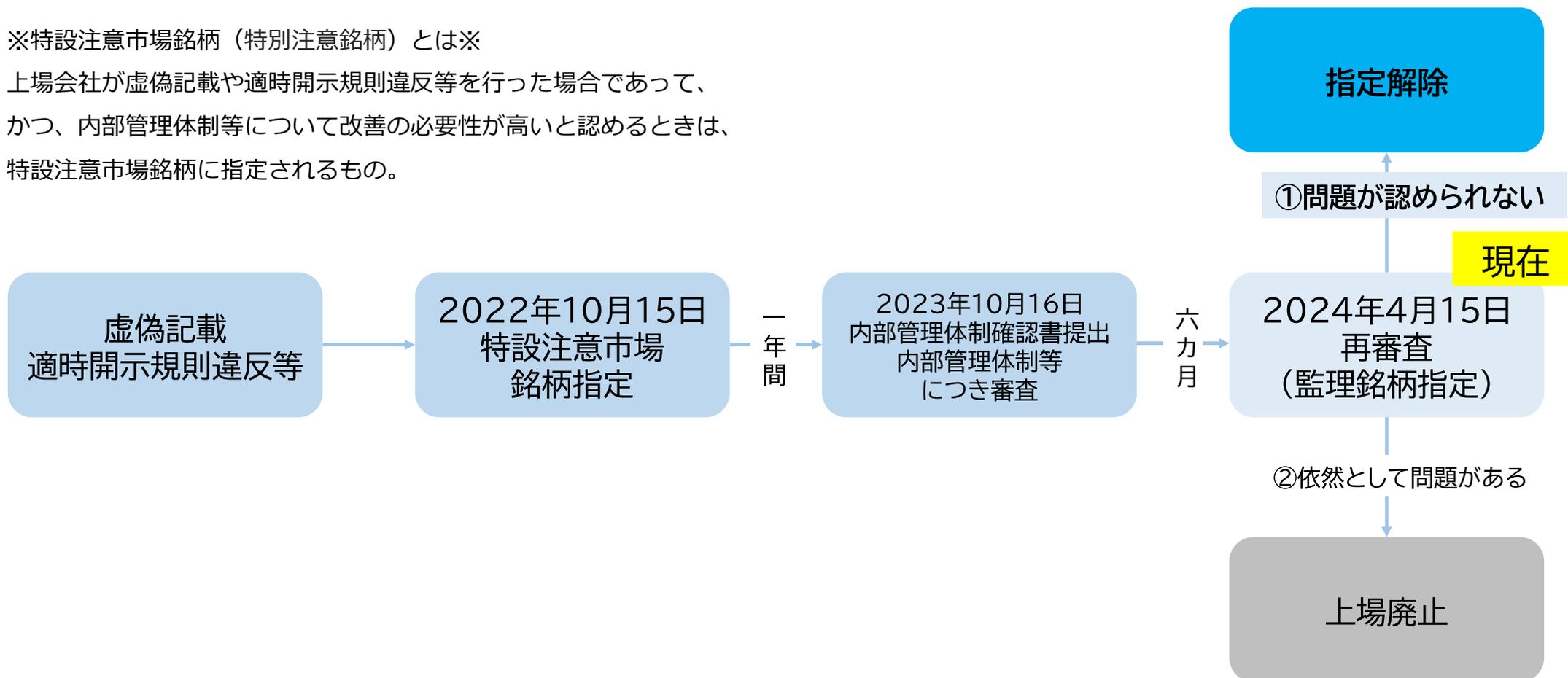
# 経営再建に向けたプロセス



# 特設注意市場銘柄の指定解除に向けた取り組み

※特設注意市場銘柄（特別注意銘柄）とは※

上場会社が虚偽記載や適時開示規則違反等を行った場合であって、かつ、内部管理体制等について改善の必要性が高いと認めるときは、特設注意市場銘柄に指定されるもの。



(名古屋証券取引所提供資料を基に当社にて作成)

# 上場維持基準（業績項目）について

上場維持基準（ネクスト市場）	改善期間
4年連続営業利益・営業CFが負でないこと	1年間

※名古屋証券取引所 Webサイトより

<https://www.nse.or.jp/listed/delisting/next.html>

[https://www.nse.or.jp/listed/files/pdf\\_delisting\\_detail.pdf](https://www.nse.or.jp/listed/files/pdf_delisting_detail.pdf)

当社は、2020年6月期より営業損益が赤字、2021年6月期より営業CFがマイナスのため、  
 今期（2024年6月期）末時点で上記に抵触し、1年間の改善期間に入る見込み。  
 したがって、**来期（2025年6月期）通期の業績が、**

**① 営業利益がプラスになる**

または

**② 営業キャッシュフローがプラスになる**

となる必要がある。



本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの見込みは、現在の想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。